

# 事業概要説明シート

事務事業番号 30571

事務事業名	駐車場案内システム維持管理業務		
事業開始年度	平成7年(1995年)度基本計画 平成10年(1998年)度供用開始	担当部署	土木部交通対策課

根拠法令	枚方市めいわく駐車防止に関する条例
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者: )
	<input checked="" type="checkbox"/> その他(保守点検を委託)

目的 (何のために)	本事業は、平成7年に施行した「枚方市めいわく駐車防止に関する条例」に伴い、枚方市駅前(駐車防止重点地域)における交通指導員による啓発活動の実施と市営駐車場(岡東町自動車駐車場)の運営と、駐車場コミュニティパーキング共通駐車券システムの運用(以下、関連3事業という。)と連携して、条例の目的を達成していくために取り組んでいるものであり、本事業では、市駅周辺の交通混雑を招かないよう、ドライバーに的確な駐車場の満空情報及び交通安全啓発の交通情報を提供する
---------------	---

対象 (誰・何を対象に)	枚方市駅周辺に駐車を希望するドライバー
-----------------	---------------------

事業内容	本事業は、市駅周辺の道路に設置された案内表示板等により、既存駐車場の効率的な利用を促進し、路上違反駐車や駐車場探しのうろつき交通・入庫待ち車両を無くすことにより、円滑な交通の流れを確保すること。また、所轄警察署との連携等による交通安全啓発の情報掲示を行い、広く市民に交通事故防止の啓発を行うものである。 なお、案内板等の道路に設置されている機器は、府道にも設置されおり、府と市が各々維持管理を行い、駐車場案内システムを運用している。
------	---

類似事業	
------	--

事業の必要性	本事業は、「枚方市めいわく駐車防止に関する条例」に伴い、関連3事業と連携して、本条例の目的を達成していくよう取り組んでいるものであり、今後も駐車場利用者等の意向把握に努め、事業を継続する必要がある。
--------	---

コスト	H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.40人	3,246千円	0.40人	3,236千円	0.20人	1,600千円
再任用職員		0千円		0千円		0千円
非常勤職員等						
人件費計(A)		3,246千円		3,236千円		1,600千円
直接経費(B)		6,313千円		3,915千円		4,850千円
総事業費(A+B)		9,559千円		7,151千円		6,450千円

財源内訳	H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		千円		千円		千円
国庫支出金						
府支出金						
受益者負担 (使用料等)						
その他						
一般財源		9,559千円		7,151千円		6,450千円

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	委託費	1,869千円
	通信費	1,369千円
	光熱費	676千円

事務事業名	駐車場案内システム維持管理業務		
事業開始年度	平成7年(1995年)度基本計画 平成10年(1998年)度供用開始	担当部署	土木部交通対策課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① めいわく駐車指導啓発件数(自動車、自動二輪車)	件	25,911	22,747	22,000
	② 自動車駐車場一時利用台数(岡東町、自動二輪車含む)	台	169,765	176,351	176,000
	③ 共通駐車券利用枚数	枚	118,420	147,209	147,000

単位当たりコスト (総事業費/活動指標)					
-------------------------	--	--	--	--	--

成果目標 (目標とする成果)	「枚方市めいわく駐車防止に関する条例」に伴う関連3事業と連携して本事業を運用し、条例の目的(めいわく駐車を防止することにより、道路が公共の施設として広く一般交通の用に供されることを確保し、もって市民が安全で快適に生活できる環境の保持及び向上に資する)を達成する。				
-------------------	---	--	--	--	--

比較参考値 (他自治体での事業の例など)	近隣では、京都市、奈良市、堺市において、駐車場案内システムが運用されている。しかし、コミュニティパーキングという大規模な駐車場をシェアするシステムは少なく、また、民間駐車場管理者の積極的な協力と負担のもと共通駐車券システムと合わせて運営している事例はさらに少ない。				
-------------------------	--	--	--	--	--

特記事項	本事業による駐車場利用者の利用実態を把握するため、平成22年12月に「枚方市駐車場案内システムに関する聞き取り調査」を実施した。その結果から、駐車場利用者のシステムの認知度(79%)と、システムを入庫判断に利用している人の割合(78%)が、非常に高いことから本システムの案内情報が十分活用されていることがわかる。				
------	--	--	--	--	--

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	引き続き、円滑な交通流の確保や啓発等の情報掲示を行うために適切な機器の維持管理に努める。			
----------------------------------	---------	--	--	--	--

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内で満車状態が少ないなら、システムの中止、休止も検討してはどうか。</li> <li>さらなる効率化の検討の余地があるのでは。</li> </ul>				
--------	--	--	--	--	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	改善	<p>①駐車場案内システムに属する駐車場は、枚方市駅に近い駐車場ほど利用度が高く、満車状態の時間帯(11AM~4PM)が生じていることから、その際、他の駐車場への案内に同システムが有効に活用され、より効率的な駐車場の活用が図られている。</p> <p>②本事業は、「枚方市めいわく駐車防止に関する条例」に伴う関連3事業と連携して、効率的に条例の目的の達成に資するよう、今後も機器の維持管理を行い、本事業の機能が最大限生かされるよう運用していく。</p> <p>③利用者へのモニタリングの定期実施、費用負担していただいている受け入れ駐車場へのヒアリング、共通駐車券参加店舗からの意見聴取等を行い、関連事業と合わせ効果的な運用を検討していく。</p> <p>④大型商業店舗が撤退する中でも、成果指標からも市駅周辺の経済活動は維持していると思われることから、これらの事業の活用にむけ、官民連携して取り組みの工夫を図る。</p> <p>⑤職員の人員配置について、業務内容の実情を踏まえ見直しを行う。</p>			
----------------------------------	----	---	--	--	--